

ひめやくつうしん



* 会長挨拶 *

6月2日の第5回一般社団法人姫路薬剤師会総会が、正会員数671名、出席者数135名および議決権の代理行使者数383名の計518名により、過半数を超えることができましたので成立を宣言し、平成30年度収支決算報告、令和元年度予算案並びに事業計画案等全ての議案の承認をいただきましたことをご報告申し上げます。

総会最後に来賓として兵庫県薬剤師会の笠井秀一会長よりご挨拶をいただきました。

続いて、兵庫県薬剤師会長、山本姫路市医師会長、橋本姫路市歯科医師会長及び松本剛明、山口壮衆議院議員他をお招きしての懇親会も無事終わることができました。

研修シールの不正譲渡、不正販売防止のため、公益財団法人日本薬剤師研修センターより通達文がありましたので、今後の研修会並びに研修シールの取り扱いの変更については、5月末にFAXでのお知らせ、そして総会においても説明させていただきました。

存じなかった方は、必ず姫路薬剤師会のホームページの会員ページ(公開日5/22)をチェックして下さい。

7月6日に姫路市民会館で行われる県薬主催の伝達講習会においては、改定前にFAXで受け付けており免許証番号の記載がないため、当日受付時に混雑する恐れがあります。

県薬の会員証(バーコード付)を提示すれば、リーダーでそれを読み取り免許証番号を含む本人認識を行ない、もう一つ用意される番号化された研修シールと連動したQRコードを読み取ることによって、その場で研修シールが発行されるよう開催までの短期間に県薬は行なう予定です。7月からの県薬主催の研修会はウェブでの申し込みとなっておりお間違いないようにお願いします。

今年度は行政との連携をさらに強化し当会の存在を高める活動に注力してまいります。

今年2月に初めて保健所と意見交換会を行ない一定の成果が得られましたので、続けて良好な関係気づけるよう、今年度も開催することで総会懇親会時、田所保健所長に了承をとりました。

昨年、健康福祉局生活援護室と試行錯誤して始まりました生活保護受給者への服薬管理指導業務委託は、外部評価を通過して今年度も契約することになりました(担当：藤田副会長)。

また、新たに中播磨・姫路地区の県及び市職員と災害時における基礎情報処理訓練として、医師会を巻き込んで合同で災害医療研修会を実施する予定です(担当：泉副会長)。

令和元年度版の在宅支援薬局リストは、各医療機関を含め前回時より多くの多職種に利用されるように努めます(担当：池口副会長)。

最後に12月1日姫路において、日本プライマリ・ケア連合学会第33回近畿地方会が開催されますので、会への協力と多くの先生方の参加(県薬からの補助あり)をお願いします。

浦上 文男

＊総務部より＊

担当副会長：藤田佳典(事務局長)、泉 憲政、関 悠吾

担 当 理 事：八藤賢市

事 務 局：船引里香、横山朝美

今年度は予算も各部からの積み上げを出来るだけ忠実に反映したものになりました。姫路薬剤師会の活動も範囲が広がり内容も深くなっています。各部の事業が円滑に行えるように、収支を常に把握し、予算が正しく使用できるように的確な収支の管理に努めます。

庶務関連では、今年も労働法令の更新や最低賃金引上げの動きがあります。社会の要請に合わせて、内容を見直し、就業規則の見直しや、書式の更新を行います。

人事管理におきましては、本部職員及び FAX コーナー職員に対し、雇用者として求められることを誠意をもって行いたいと思います。

編集・文化部と共同でひめやくのあゆみ編集を行っていますが、今年は以前のあゆみの内容に関しても書式を統一して整理し、データベースとして完備したいと思います。

表彰関連では、みなさまの今迄の活動を明らかにするものですので、漏れなく管理致します。

昨年は一般からの苦情相談が多く寄せられました。今後も真摯に対応するとともに、会員への現状報告、関係機関との調整・連絡を行います。

藤田佳典

＊薬局経営部より＊

担当副会長：藤田佳典

担 当 理 事：森保貴典、西岡健二、松田康弘

担 当 委 員：西邑育代、八木 智

薬薬連携を継続します。4 病院（製鉄記念広畑病院・姫路聖マリア病院・姫路医療センター・姫路赤十字病院）との定期会合を継続、薬局と病院薬剤部の連携を強固に出来るように努めます。

本年度も姫路医療センターのプロトコールの更新、呼吸指導ネットワーク研修の継続を行います。

昨年は一定の評価を頂きました姫路市生活援護局との共同事業に関しましては、より実践的な内容になる様に関係機関と協議し取り組んでいきます。

正副会長を中心として姫路中央保健所との定期会合を行い、連携を図ります。

法令の改正など、情報が十分に伝わっていない薬局に関しても、継続して手助けができるように致します。

藤田佳典



＊薬学教育部より＊

担当副会長：関 悠吾、藤田佳典

担 当 理 事：勝間由美子、神崎年木、安田幸一

担 当 委 員：為則利之

薬学教育は、今年度の実習より新モデルコアカリキュラム改定となり、実務実習に関わる環境が病院・保険薬局・大学（薬学実習生）それぞれの部分で大きく変動しました。薬学教育部では、兵庫県薬剤師会と病院薬局実務実習近畿地区調整機構の主導のもと、実務実習受入施設の整備強化として実習生のマッチング（トラブル発生時の対応等含）・病薬連携整備（グループ化）・新モデルコアカリキュラムへの対応を行います。実務実習指導体制の整備・強化として認定実務実習指導薬剤師更新講習会の案内や指導薬剤師へのアドバンスワークショップの参加を促し、変革期に対応できる環境整備を行います。

次に、6年制カリキュラムへの対応として、姫路獨協大学コミュニティーファーマシー論への講師派遣・内容の充実、各薬科大学早期体験学習対応、OSCE 評価者、事前学習への講師派遣の協力を行います。コミュニティーファーマシー論では、姫路獨協大学薬学部の1回生向けに90分の講義を行っておりますが講師の募集も随時受け付けております。薬剤師の職能アピール活動とともに、プレゼンテーションのスキルアップも兼ねてチャレンジしていただける薬剤師の先生を募集しております。

また、兵庫県薬剤師会主催支部合同研修を実習各期に実施し、新モデルコアカリキュラム対応でのトライアル実習を行います。

病院・薬局との連携を深め、大学・県病薬・日薬・近畿調整機構との連携、薬学教育ワークショップ（タスクフォース）、関連機関主催のアドバンスワークショップへの参加を本年度も継続していきます。また、指導薬剤師の研鑽として、学術大会への参加・疾患に対する薬薬連携研修会への参加、8疾患ごとのGIO、評価レベルの作成等にも取り組んでいきます。



関 悠吾

＊学校薬剤師部より＊

担当副会長：深見達也

担 当 理 事：勝間由美子、西岡健二

令和元年度も引き続き学校薬剤師部の副会長を担当させていただきます深見です。

1年間務めさせて頂き何分まだ分からない面も多くありましたが、代表委員の先生方に支えられ、活動を進めることが出来ました。今年度も部員一同協力し共に姫路薬剤師会の為に活動していきたいと思えます。

学校薬剤師は、学校長より任命された非常勤嘱託職員で、公立校では教育委員会から委嘱され公務員の一員となります。また私立校・認定こども園では学校の理事会等から委嘱されます。薬剤師の資格が必要で、各地区薬剤師会が各市町村教育委員会への推薦を行っています。学校保健安全法という法律に基づき学校内の水道水やプールの水質、教室内の空気の汚れ、給食用設備の衛生などを定期的に測定・

検査し、指導・助言が主な職務です。これは、子供たちが安全快適に過ごせるよう学校の環境衛生を維

持・改善するための大事な仕事であり、改善すべき点があれば学校側に助言をいたします。また、学校薬剤師の職務は健康相談、保健指導にも従事するように求められております。くすりの正しい使い方の講義をする機会もあり、薬物乱用防止活動に積極的に取り組んでおります。学校薬剤師として、学校における健康教育に関わっております。

私立認定こども園に学校薬剤師の配置もあり、部員は 109 名で活動しています。現在、学校施設が約 246 校あります。1 人 1 校の大目標がございます。学校薬剤師はかかりつけ薬剤師としての算定要件のひとつでもあります。

本年度は新たに 8 名の先生が学校薬剤師部に入部いただき学校薬剤師として活躍されています。引き続き状況に応じて新規会員募集を行いますので、興味があり、やってみたいという先生は宜しく願い致します。

学校薬剤師会の執行部は令和元年度も下記のメンバーですので、引き続きよろしくお願いいたします。

部 長：深見達也

副 部 長：勝間由美子 西岡健二

代表委員：山本由栖・金沢久美子・山内康子・成山恵美・矢嶋倫子・西本悦子

深見達也

＊編集・文化部より＊

担当副会長：深見達也

担 当 理 事：田中定幸、藤原 昭、神崎年木

担 当 委 員：碁盤繁子

- ・ひめやく通信の発行。
- ・あゆみの編集発行予定（総務と共同）
- ・会員の親睦を深めるためのイベントの開催（ゴルフコンペ、バス旅行、親睦会等）

昨年のバス旅行は淡路島でうず潮クルージング・ミカン狩りでした。今年度も楽しい旅行を企画させていただきます。是非、御期待ください。

また、ひめやくカップを昨年度は 3 月に実施いたしました。気軽で気を使わないゴルフコンペを予定しております。初心者の方もブランクのある方も是非ご参加下さい。

深見達也

